

長期漁海況予報会議の結果（令和3年8月～12月の予測）について

令和3年7月28日～29日に令和3年度第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報会議が開催され、（国研）水産研究・教育機構が予測をとりまとめましたのでお知らせします。

1. 海況

（1）黒潮（潮岬以東）

- ・大蛇行が継続し、A型基調で推移する。
- ・房総沖では、概ね接岸傾向で推移するものの、一時的に離岸することがある。

（2）鹿島灘～常磐南部海域

- ・黒潮の一時的な離接岸変動に伴って暖水が波及することがある。

（3）沿岸水温

- ・房総～常磐南部海域は、「平年並」～「やや高め」で推移する。

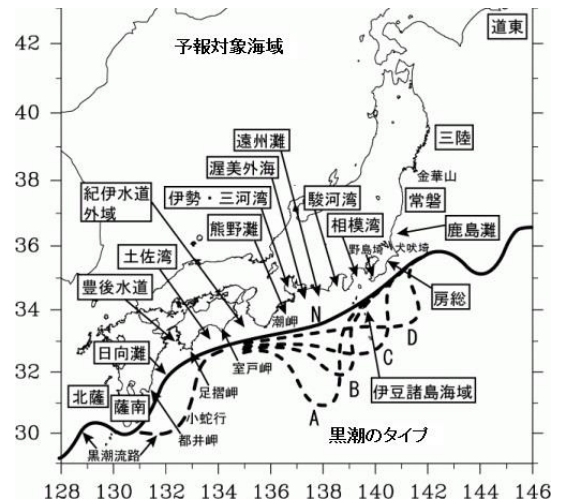


図. 予報対象海域および黒潮の流型

2. 漁況

（1）マサバ・ゴマサバ（犬吠～三陸海域：まき網、定置網等）

- ①来遊量：マサバ1歳魚は前年を上回る。2歳魚は前年を下回る。3歳魚は前年を上回る。4歳魚は前年並。5歳魚は前年を上回る。6歳魚は前年並。マサバ全体としては前年を上回る。ゴマサバは混獲される程度。サバ類全体としては前年を上回る。
- ②漁期・漁場：定置網は期を通じて漁獲される。まき網漁場は、8月～10月は道東海域～三陸北部、11月～12月は三陸北部～犬吠海域に主に形成される。
- ③魚体（尾叉長）：マサバは26cm～36cm（200g～650g、3歳以上）主体に、18cm～28cm（60g～250g、1歳魚、2歳魚）も漁獲される。

（2）マイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

- ①来遊量：前年並～上回る。
- ②漁期・漁場：まき網は、8月～10月は道東が主漁場となり、三陸～房総海域は小規模な漁場形成となる。11月～12月には三陸～常磐海域が主漁場となる。定置網は、各地で期を通じて散発的に漁獲されるが、期の後半以降に本格化する。
- ③魚体（被鱗体長）：10cm～15cm前後（10g～40g）の0歳魚、14cm～17cm前後（30g～60g）の1歳魚、15cm～19cm前後（40g～90g）の2歳魚、17cm～21cm前後（60g～140g）の3歳魚、19cm以上の4歳魚が漁獲される。

（3）カタクチイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

- ①来遊量：房総・常磐海域、三陸海域では前年並。道東海域ではまとまった来遊はない。
- ②漁期・漁場：道東海域、常磐～房総海域の1そうまき網の主な漁獲対象にはならない。三陸海域の定置網および2そうまき網、房総沿岸海域の2そうまき網では期を通じて漁獲される。
- ③魚体（被鱗体長）：6～11cm（10g以下）の0歳魚、9cm～13cm（15g前後）の1歳以上が漁獲される。

（回遊性資源部）